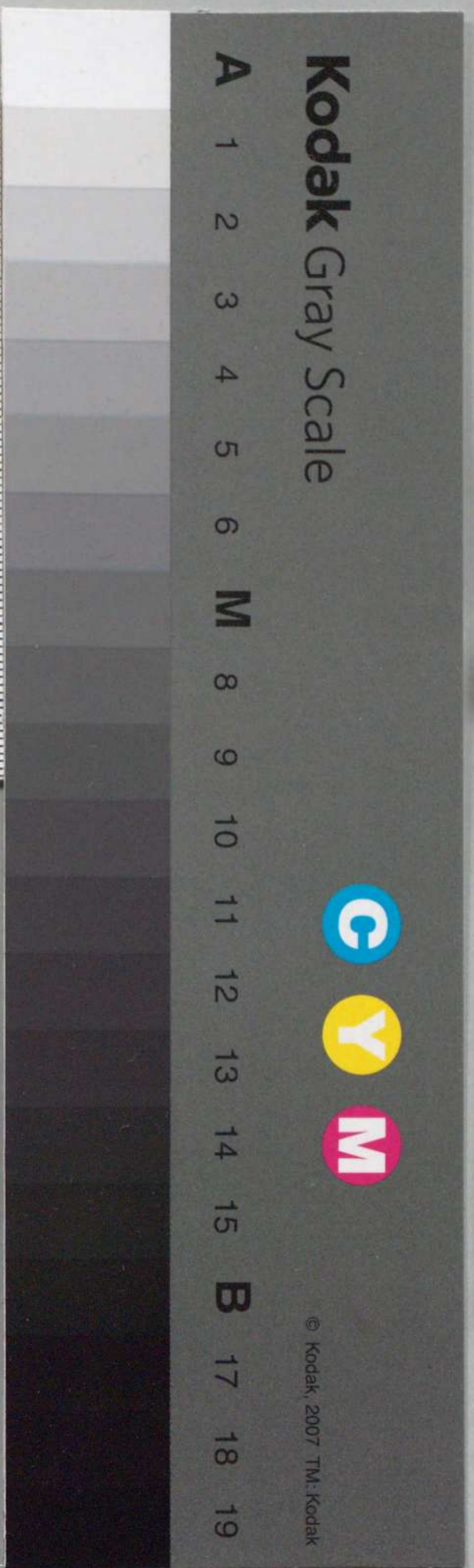
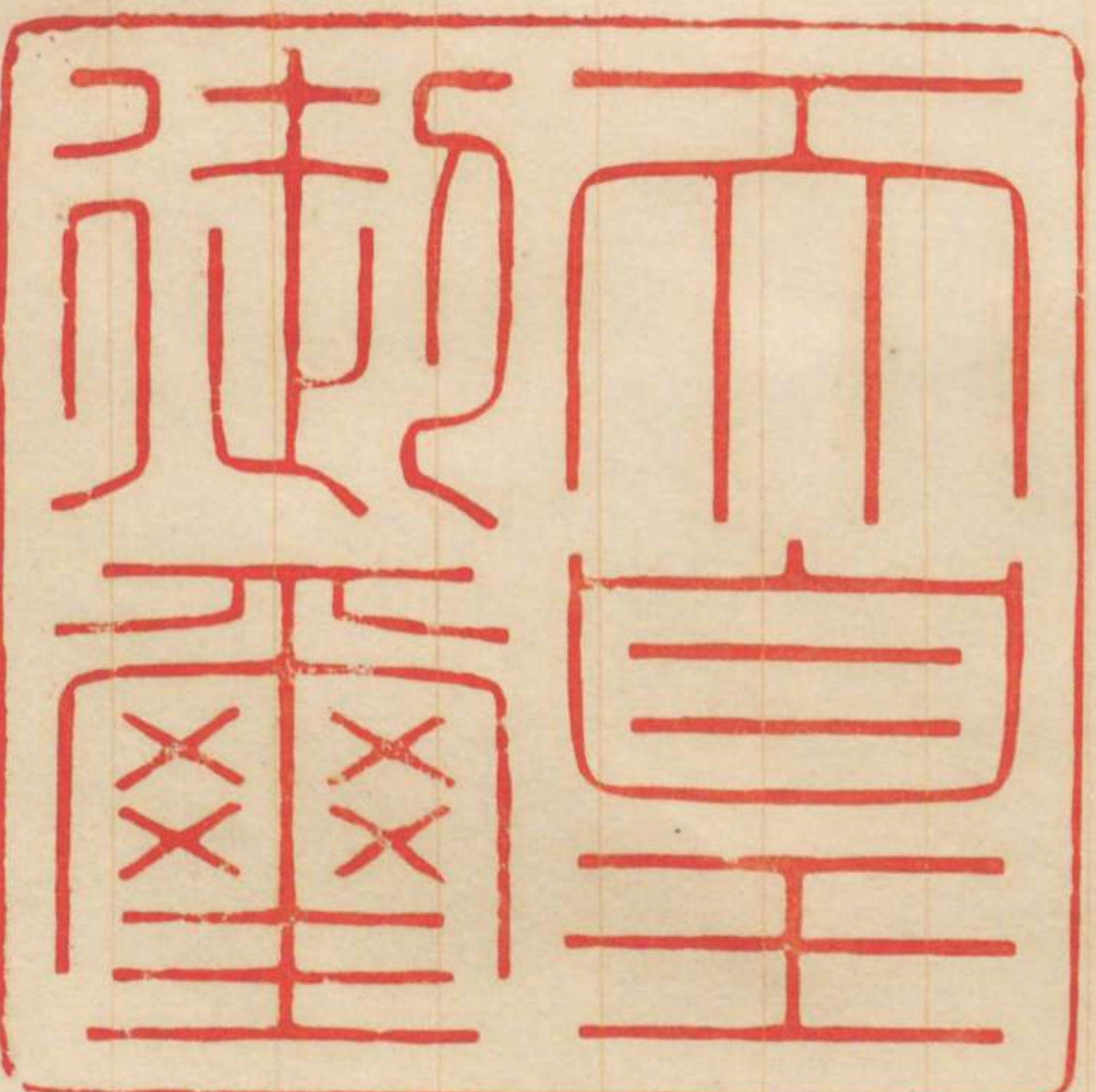


勅令 凡 百 年 以 上



朕衛成條例ノ改正ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公
布セシム

睦仁



明治二十八年十月三日

月

日

陸軍大臣侯爵大山巖

勅令第百三十八號

衛戍條例

第一條

陸軍軍隊ノ永久一地ニ配備駐屯スルヲ衛戍ト稱シ東京ニ在テハ東京防禦總督各要塞ニ在テハ要塞司令官其他ニ在テハ其地屯在ノ高級團隊長之カ司令官タルモトス
衛戍司令官タル東京防禦總督要塞司令官及團隊長ハ衛戍勤務上ニ於テモ亦其所屬上官ノ區處ヲ受クルモト

ス

第二條 東京防禦總督部要塞司令部及
團隊ノ副官ハ其總督司令官及團隊長
衛戍司令官タルトキハ衛戍副官ヲ兼
又

第三條 各衛戍地ニハ所要ニ應シ病院
武庫監獄ヲ置キ衛戍司令官ノ管轄ト
ス又其衛戍地ノ陸軍諸官廨及陸軍ノ
建築物ニ關スル火災水害等ノ救防ハ
衛戍勤務ニ屬ス

第四條

衛戍

衛戍地警備ノ責

ニ任シ衛戍

シテハ其地駐屯

ノ軍隊ヲ指揮

兵ノ部署及其人負

ヲ定ム

第五條

衛戍司令官

警備上必要ト認

ムル時ハ衛戍上其
隊ト雖モ其衛戍地
シ援助ヲ請求シ又憲兵ヲシテ地方ノ
情勢ヲ報告セシメ且火急ノ場合ニ際
シテハ直ニ之ニ命令スルコトヲ得

ス

第二條 東京防衛總督部要塞司令部及
團隊ノ副官ハ其總督司令官及團隊長
衛戍司令官タルトシテハ衛戍副官ヲ兼
又

第三條 各衛戍地ニハ所要ニ應シ病院
武庫監獄ヲ置キ且衛戍司令官ノ管轄ト
ス又其衛戍地ノ陸軍諸官廨及陸軍ノ
建築物ニ關シテハ陸軍諸官廨及陸軍ノ
衛戍勤務



第四條 衛戍司令官ハ衛戍地警備ノ責
ニ任シ衛戍勤務ニ關シテハ其地駐屯
ノ軍隊ヲ指揮シ衛兵ノ部署及其人負
ヲ定ム

第五條 衛戍司令官ハ警備上必要ト認
ムル時ハ衛戍上其管轄ニ屬セサル軍
隊ト雖モ其衛戍地ニ駐在スル者ニ對
シ援助ヲ請求シ又憲兵ヲシテ地方ノ
情勢ヲ報告セシメ且火急ノ場合ニ際
シテハ直ニ之ニ命令スルコトヲ得

第六條 前條ノ請求ヲ受ケタル團隊長
ハ正當ノ理由ナクシテ之ヲ拒ムコト
ヲ得ス

第七條 衛戍地ニ駐在スル軍隊ハ衛戍
司令官ノ管轄ニ屬セザルモノト雖モ
衛戍司令官ノ定メタル衛戍上ノ諸規
則ニ對シテハ總テ遵守ノ義務アルモ
ノトス

第八條 衛戍司令官ハ有事ノ日ニ方リ
住民公共ノ保安ニ關スル處置ニ就テ

ハ當該地方官協議スルモノトス
衛戍司令官ハ衛戍線内ニ騷擾ノコト
アルニ方リ地方官ヨリ請求アルトキ
ハ兵力ヲ以テ便宜事ニ從フコトヲ得
第九條 近衛師團及憲兵隊ニ在テハ第
五條第六條及第七條ヲ除クノ外衛戍
勤務ニ干與セス

附則

第十條 東京ノ衛戍ハ東京防禦總督部
ノ設置ニ至ル迄第一師團長ヲ以テ之

カ司令官ト為ス又要塞ニシテ其司令
部ヲ置カサルノ間ハ其地所在ノ高級
隊長ヲ以テ司令官ト為ス